

# 追悼上映

ドキュメンタリー 福岡正信インドへ行く

# 地球で生きるために

自然農法 福岡正信 粘土団子が地球を救う

●会場 センター棟101号室 ●時間 9時30分～11時30分

8月16日、福岡正信さんが亡くなりました。95歳でした。国際有機農業映画祭では、自然農法の実践者として、自然哲学者として世界に知られた福岡さんをしのび、福岡さんのインドの旅を追ったドキュメンタリー映画「地球で生きるために—福岡正信インドへ行く」を鑑賞し、今泉光司監督のお話を聞く特別プログラムを設けました。

1997年10月。インドを旅した福岡さん。3年前から女性だけで自然農法（インド中央部）の農園で



写真提供：斎藤裕子（じねん堂）



ダハヌー（ボンベイの北方）の自然農園。そのすばらしさに感激する福岡さん

同時上映します

福岡正信さんが「弟子」と認めたギリシアのパノスさんは、ヨーロッパ各地の山火事現場などを粘土団子で緑化するボランティア活動を行っています。2007年のその様子を紹介する今泉光司監督の報告ビデオも上映します。

当日券はありません。ご注意ください

上映後、今泉光司監督に映画や福岡さんについて語っていただきます

このプログラムは、映画祭の入場券で参加できます

●入場券の申込先 (事前申込です)  
FAX 046-276-1064 メール info@yuki-eiga.com

## 福岡正信さん、ありがとう

福岡正信さんが亡くなった。びっくりした。あのドラゴンボールの亀仙人のように、福岡さんはいつまでも生きていたと思い込んでいたようなのだ。なぜ、そんな風に思ってしまったのだろう。やはり福岡さんの自然哲学にいきつく。不耕起・無除草・無肥料・無農薬を端的に表現すると、「殺さない」ということなのだろうなとずっと思ってきた。すべての生き物と共に生き、その生き物の恵みで自らも生きる一。

その思想の象徴が、あの粘土団子なのだ。生命の塊のような粘土団子を、福岡さんは世界中にばらまいた。第2回を迎える国際有機農業映画祭のテーマは「土からの平和」である。劣化ウラン弾の、ミサイルの、地雷の代わりに粘土団子を雨あられと地球に降らせる……福岡さんのことを考えていると、そんなイメージが浮かんできた。私たちは、国際有機農業映画祭を通じて福岡さんを追悼することにした。

福岡さん、すばらしい生き方を、思想を、実践を、地球に残してくれてありがとう。私たちは、あなたが残してくれた「何者をも殺さない農の思想」を胸に刻み、生命の塊の粘土団子を握りしめ、「土からの平和」を歩もうと思う。あなたはやっぱり生きています。合掌

実行委員会からのメッセージ